

令和4年度地域クリーン作戦 8月7日(日曜日)

～みんなの力できれいな住みよい地域づくり～

— 実施内容 —

潟東地域コミュニティ協議会 環境・福祉・保健部会

- 各地区の下水溝清掃及び側溝清掃
- 個人・公共施設・歩道上等の雑木や枝葉の伐採草取り作業
- やぶ予防・下水の害虫駆除
- 神社及び公共施設の清掃
- 各地区の環境整美化清掃
- 道路及び各地区内の不法投棄ごみ・空き缶等処分

※詳細については各自治会で協議ください。

- 空きびんの回収

《酒一升びん》(白色・青色びんは除く)

《ビールびん》

◎各地区中学生とPTAで回収

搬入場所：美術館駐車場



※持参した箱類は持ち帰り、各地区で資源ごみに出してください。

※搬入場所にいる担当者の指示に従ってください。

「燃えるごみ」と「燃えないごみ」を分別してください。

違反ゴミ急増！燃えるゴミの中に缶・びん入れないで！！

第16回 潟東地域コミュニティ協議会総会

5月14日(土)午後5時より潟東地域コミュニティセンターにて総会を開催し、第1号議案から第8号議案まで原案通り可決承認されました。所属団体43団体中36団体から出席をいただきました。お忙しい中大変ありがとうございました。



退任の皆様ありがとうございました

5年間、会長を務めさせていただきました。在任中は公私にわたり、役員の皆様、地域の皆様はじめ多くの皆様からご支援ご協力を頂き努めることができました。誠にありがとうございます。今後は、乙川新会長さんを中心に潟東地域コミュニティ協議会の益々のご発展、ご活躍をお願いして退任の挨拶といたします。

佐藤 正昭

7年間、地域の方々及び役員の皆様には大変お世話になり深く感謝申し上げます。今後はコミセン副センター長として、地域の発展のために尽力したいと思います。

坂井 克彦

就任のあいさつ

潟東地域コミュニティ協議会会長 乙川 千香



はじめまして。5月の総会にて承認され潟東地域コミュニティ協議会会長となりました乙川千香です。大役を任せられ、とても身の引き締まる思いです。

わからないことが沢山ありますが、皆様の声を聞き、いろいろなことを教えていただきながら、お互いに支え合い安心して「心豊かに暮らすこと」ができる地域づくりをしていきたいと思っております。コロナ禍で様々な活動が制限されてきました。高齢化、担い手不足などの課題もございます。地域の繋がり、人と人との繋がりが希薄になってしまわないよう、少しずつでも

未来の子ども達に繋がる活動ができますよう努めてまいります。一緒に明るく楽しい地域づくりをしていきましょう。皆様、どうぞよろしく願いいたします。

か
け
橋

潟東地域コミュニティだより

第71号

令和4年8月1日発行
潟東地域コミュニティ協議会

潟東まち歩き

潟東まち歩きガイドの会は、六月四日に「迷路の島方めぐり」を行いました。当日は良い天気にも恵まれ、三十一名の参加がありました。

参加された方からは、迷路の小路が多くおもしろかった。地元で生まれて七十五年、新しい発見がいっぱいあった、など素晴らしいご意見をいただきました。今回は島方地区の方々からご協力をいただきました。



大谷大学学長山辺習学先生頌徳碑



小林家(現在は山口家)の屋敷内の見事なタブの木



潟東まち歩きガイドの会メンバー



島方神社

健康ウォークフェスティバル

令和4年5月22日、岩室地区の丸小山公園にて「健康ウォークフェスティバル」が開催されました。ポツポツと降っていた雨もスタート時には上がり、澄んだ空気の中、気持ちよくスタートいたしました。毎年大人気の長岡造形大学非常勤講師の篠田浩子先生に楽しくご指導いただき、終始和やかな雰囲気の中で新緑の中をウォーキング。ご参加くださった23名の笑顔から、皆様心地よい汗をかくことができたように思います。生涯健康で過ごすことができますよう、これからも楽しく歩いていきましょう。



地域の茶の間 かもちゃん広場 2周年を迎えました!



令和2年6月にスタートした「かもちゃん広場」が、2周年を迎えることができました。これもひとえに地域の皆様のおかげだと感謝しております。

6月10日に記念行事として、巻の「ひより会」様より踊りなどを披露していただき、楽しい時間を過ごしました。

日頃は、保健師さんや県のレクリエーション協会のご協力で、健康指導や介護予防、体操、レクリエーションなどを行って楽しく過ごしています。皆様の参加をお待ちしています。



運営団体 潟東地区社会福祉協議会
問合せ 池田 090-2160-1587

よろしくお願いします

湯東中学校 校長 小田 一郎



今年4月、西区・赤塚中学校から新任校長として着任いたしました。以前、巻西中学校に勤務しておりましたので、西蒲区での勤務は二回目となります。

湯東中学校は、新潟市初の小中併設校となって2年目を迎えました。小学校と目指す子ども像を共有し、「義務教育9年間」の長期的な視点に立ち、連携・協働した取組を進めています。7月下旬から、残っている内部工事を済ませると、新校舎が完成します。当校の教育目標「豊かな心を持ち たくましく伸びる生徒」のもと、生徒一人一人が『輝ける存在』となれるよう、多くの方々の声に耳を傾け、教育活動の充実に取り組んでいきます。私自身、初心を忘れず『凡事徹底』を心掛けてまいります。湯東地域コミュニティ協議会の皆様には、大変お世話になります。ご指導よろしくお願いいたします。

湯東中学校 3年

避難所体験

5月18日(水)



青柳防災士の講話

青柳防災士による防災についての講話と指導をしていただきました。映像で過去の災害を振り返り、災害から命を守るために、自分たちに何ができるか、ハザードマップを見ながら地域全体を確認、防災行動の必要性や、〇×クイズを交えながら、生徒は防災について学ぶことが出来ました。また、各分野の方々から協力をしてもらいました！



段ボールベッドの組み立て



ARを使った水害の疑似体験

西蒲区役所（防災グッズ作り）、NHK新潟（ARで疑似体験）、西蒲区社会福祉協議会（非常食の提供）



屋上から湯東全体を見てみた！

「湯っ子健康貯金プロジェクト(KKプロジェクト)」始まりました!



第1回学校運営協議会でも話題になった、湯東小学校の子どもたちの体力向上を目指して、年間を通した取組「湯っ子・健康貯金・プロジェクト(KKプロジェクト)」が始動しました。

まずは、毎日できるだけたくさん歩くことを目標に、KKプロジェクト第1弾「ラッキーカーター君をさがせ!」に取り組んでいます。

校舎内のいろいろな場所に貼られた1~100までの数字が書かれた湯東小学校キャラクター「カーター君」を探し回ります。毎日探す数字が変わるので、毎日違った5つのカーター君を探すことになります。



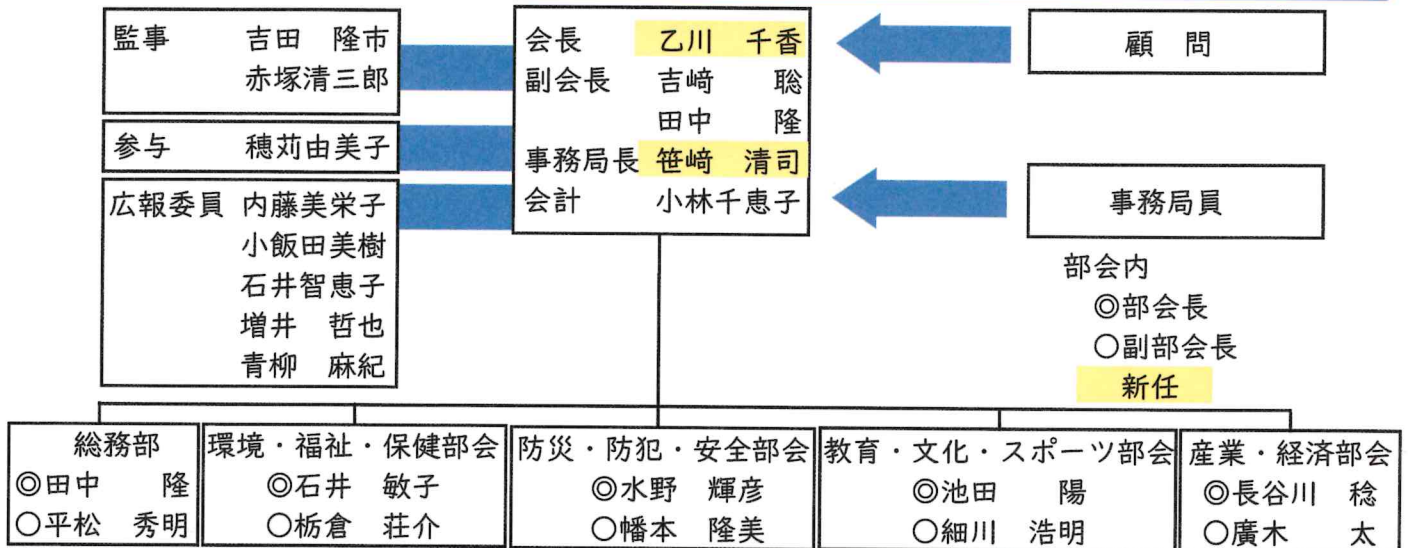
湯東小キャラクター
カーター君

また、5つすべてのカーター君を見つけると、ラッキーな事が起こるかも?ということで、全部見つけた後に自分に起きたラッキーを書く場所を、会議室前に設置し、子どもたちに書いてもらっています。書いてくれたラッキーな出来事は、昼の放送で全校にシェアし、みんな幸せな気持ちになっています。1年生から6年生まで、全校のみんなで行っている「ラッキーカーター君をさがせ!」。毎日、湯東小学校の子どもたちが「明日の自分のために、健康貯金」をコツコツ地道に頑張っています。

令和4年度潟東地域コミュニティ協議会事業計画（今後の感染状況により変更もあり）

- 8月 7日 クリーン作戦
- 8月16日 おまつり広場・どろんこカップ・花火大会
- 10月 2日 (仮称)潟東地域スポーツレクリエーション大会
- 11月 5日～8日 潟東総合文化祭
- 11月12日 潟東芸能祭
- 11月27日 健康づくり教室
- 11月 下旬 まち歩き（遠藤・横戸地域）
- 12月 4日 かもん！カモねぎまつり
- 1月 中旬 新春講演会&年賀交換会
- 2月 5日 リレーマラソン大会

潟東地域コミュニティ協議会 組織図



潟東文化への誘い

—もっと知りたい潟東の歴史・人・風土—

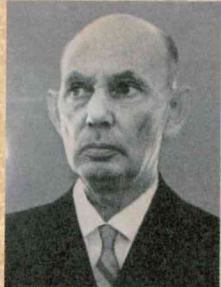
福田則男

第十三回 鎧潟干拓の進展に貢献された「ヤンセン教授」

私たち潟東地域と深いつながりのあった鎧潟は、今から約七十年前の昭和二十六年、旧四ツ合村と旧大原村や他の町村とともに土地改良区を主体とした鎧潟干拓の促進運動が進められます。この時の鎧潟干拓については、角田山の土をケーブルカーで運搬して潟を埋め立て、水田にするという考えでした。

しかし、昭和三十年に国の事業として干拓事業所が設置され、ここでオランダ干拓事業の権威者「ピーター・フィリップス・ヤンセン教授」の診断を受けることとなります。

ヤンセン教授は「鎧潟は平らなので浅い干陸化をして必要な道路だけ付け、大通川と飛落川は潟の周辺に廻して潟内は地下水を下げ、その地下水を集めて新川へ排水すれば良い」と示されます。国はこの案を採用し、当初の角田山の土を運搬して埋め立てるのは変更されました。



ピーター・フィリップス・ヤンセン教授。明治35年生まれ。オランダのデルフト大学教授。昭和57年逝去。



かかって流れる鎧潟第一号排水幹線。右上が鎧潟排水機場。

これにより、大通川と飛落川は潟の外側に迂回させました。そして潟内は地下水を下げ、第一号排水幹線に地下水が集められて鎧潟排水機場でポンプにより、新川へ排水する現在の仕組みになり、潟を角田山の土で埋めることもなく二三四ヘクタールの新たな水田が出来上がったのです。ヤンセン教授は、全国の潟などの干拓に貢献され、日本だけでなく国際的にも活躍されて、その功績は高く評価されました。

ヤンセン教授の診断がなければ、干拓後は現在の姿にはならなかったかもしれません。

（主な参考資料 ヤンセン教授画像と資料「農林水産省」「潟東村誌」）

ご意見・ご要望もお待ちしております。



潟東地域コミュニティ協議会
新潟市西蒲区三方2番地

（潟東地域コミュニティセンター内）

TEL/FAX 0256-86-3123

Eメール katacommu@honey.ocn.ne.jp

編集後記

- 3年ぶりの復活！8月16日（火）は、おまつり広場&どろんこカップ！（M・A）
- 暑い毎日、健康に過ごせますように…新潟シティマラソン無事に出られるかな。（T・M）

毎週月曜日は飲マンデー

肝臓・胃腸を休ませよう！

